仕入先様サステナビリティガイドライン

矢崎総業株式会社

目次

１．はじめに **P.1**

２．矢崎グループ　経営理念・関連方針 **P.2-4**

（１）社是

（２）経営基本方針

（３）サステナビリティ方針

（４）調達ガイドライン

３．仕入先様サステナビリティガイドライン **P.6-10**

＜品質・安全＞

＜リスクマネジメント＞

＜コンプライアンス＞

＜人権・労働＞

＜環境＞

＜地域・グローバル社会＞

＜＊最後に＊＞

１．はじめに

矢崎グループは、1941 年の創業以来、社是「世界とともにある企業」「社会から必要とされる企業」 を経営の軸に据え、ものづくりを通じて社会に貢献したいという一貫した想いで事業を展開しステークホルダーの皆様とともに成長を続けてまいりました。

社会の情勢がめまぐるしく変化する中、矢崎グループは「経営基本方針」（後述）を 2002 年に制定し、社是実現に向けた企業活動を行っております。2007 年には、“オープンでフェアな取引に努め、共存共栄を図る”という経営基本方針に則り、お客様および仕入先の皆様とのサプライチェーンを強固にすべく、「調達ガイドライン」（後述）を制定しました。そして、昨今の CSR（企業の社会的責任）に対する要請の高まりに鑑み、全てのステークホルダーからの信頼の醸成と社会への更なる貢献をめざし、その指針となる「CSR 方針」を 2013 年に制定、2015 年には仕入先の皆様とともに CSR 活動を推進することを目的に「仕入先様 CSR ガイドライン」を制定しました。

その後の企業に求められる持続可能な社会の構築および ESG（環境・社会・ガバナンス）への取り組みの期待の高まり、特に、サプライチェーンにおける人権・労働問題の未然防止や是正対応、地球環境の保全や再生等、社会からの多様な要請を受け、「矢崎グループ人権方針※1」の制定、「責任ある調達鉱物方針※2」の改定、後述のサステナビリティ方針（旧 CSR 方針）の改定に続き、この度、「仕入先様 CSR ガイドライン」を「仕入先様サステナビリティガイドライン」へと名称を変更し内容を改訂しました。

本ガイドラインを通じて仕入先の皆様と矢崎グループが持続可能な社会構築に向けた共通認識をもち、積極的な取り組みを推進することで、ともに社会から必要とされる企業へと成長し続けたいと考えております。

仕入先の皆様におかれましても、本ガイドラインの趣旨をご理解いただき、自社内でのサステナビリティの推進にご協力いただくとともに、皆様の仕入先への展開をお願いいたします。

※1 矢崎グループ人権方針 ：https://www.yazaki-group.com/csr/humanrights.html
※2 責任ある鉱物調達方針 ： https://www.yazaki-group.com/csr/csr/index.html #ResponsibleMineralsSourcingPolicy

矢崎総業株式会社

２．矢崎グループ　経営理念･関連方針

（１）社是

「世界とともにある企業」
「社会から必要とされる企業」

（２）経営基本方針

矢崎グループは社是実現のため、以下の方針に従い活動する。

１．　新しい発想とたゆまぬ努力で企業効率向上をはかり、世界中のお客様に最高の価値を提供する。
２．　法を守り、地域の文化を尊重した企業活動を行い、社会発展に貢献する。
３．　環境／安全を最優先とした企業活動を行い、豊かな未来社会実現に貢献する。
４．　オープンでフェアな取引に努め、共存共栄を図る。
５．　人を大切にし、個人／チームワーク能力を最大限引き出せる企業風土を育て、個人の夢に貢献する。

（３）サステナビリティ方針

矢崎グループは、社是である「世界とともにある企業」「社会から必要とされる企業」を、社会から寄せられた信頼と期待に応えることを通じて実現します。
私たちは、持続的な事業成長を追求することで、すべてのステークホルダーに長期的な価値を提供できると考えています。
そのために、経営基本方針および本サステナビリティ方針に基づき、常にステークホルダーの声に耳を傾けつつ、ものづくり・ことづくりを両輪とした事業活動を展開するとともに、事業の基盤となるコーポレートガバナンスの充実に努めます。
こうした取り組みを矢崎精神である「不屈の闘志」「奉仕の精神」「先見性」という価値観をもって実践します。
これにより、関連するあらゆるリスクと機会を見極めつつ、矢崎グループおよび社会全体の持続的な発展をめざします。
また、私たちは、お取引先がこの方針に賛同し、私たちとともに行動するよう求めていきます。

＜お客様＞

・ものづくり・ことづくりの両輪から生まれる安全・安心で環境に配慮した高品質な製品・サービスを通じ、お客様が求める価値を提供します。
・お客様のニーズに対応するとともに、安全性、品質、環境等に係る法令や規格を満たした製品・サービスを提供します。
・お客様の視点に立ち、製品・サービスに関する必要な情報を適切に提供します。
・業務上知り得たお客様個人や企業等の機密情報をはじめとする情報資産を、適正に管理・保護します。
・事業を取り巻く多様化するリスクを把握し、その管理を徹底します。万が一、緊急事態が起こった際には、従業員や地域住民の人命の安全を最優先に行動するとともに、事業を継続できるよう取り組みます。

＜地域社会・国際社会＞

・世界各地における事業展開を通じて、雇用の創出や地域経済の活性化を図り、豊かな社会づくりに貢献します。
・各国・地域の文化、慣習、歴史等を尊重し、あらゆる事業活動において、関係法令等のルールを遵守します。
・国・地域をまたぐ事業活動においては、輸出入に関する法令等を遵守し、適切な管理と必要な手続きを行います。
・開発の成果は知的財産権によって保護し、積極的に活用するとともに、他者の正当な知的財産権を尊重します。
・企業情報を適時かつ適切に開示し、ステークホルダーとの対話を通じて経営の透明性を高めます。
・ステークホルダーとの健全かつ透明性のある関係を構築、維持します。ステークホルダーに対する不当な利益や優遇措置の取得または維持を目的とした接待、贈答、金銭の授受についてはこれを行いません。

＜地球環境＞

・矢崎地球環境憲章に基づき、次世代に豊かな地球環境を引き継ぐため、環境問題の解決に向けたカーボンニュートラルの実現、サーキュラーエコノミーの推進等の取り組みを積極的に推進します。

＜お取引先＞

・サプライチェーン全体でサステナビリティ課題解決に資する製品・サービスを開発し、お取引先との共存共栄を図ります。
・お取引先と公平・公正かつ透明性のある関係を維持し、誠実な取引を行います。
・各国・地域の公正競争を維持するための法令等を遵守します。
・人権・環境をはじめとする社会課題を認識し、責任ある調達活動に努めます。

＜従業員＞

・誠実な対話を通じ、従業員との信頼を構築するとともに、従業員が自由に結社する権利または結社しない権利を、事業活動を行う国・地域の法令に基づいて認めます。
・従業員の国籍、人種、民族、性別、性的指向、性自認、障がい、年齢、出身、学歴、縁戚関係、宗教、雇用形態の違いなどの多様性を尊重し受け入れ、公平な機会を提供するとともに差別を排除することで、従業員の能力が最大限に発揮できる職場環境づくりに取り組みます。
・矢崎グループ人権方針に基づき、人が生まれながらにしてもつ基本的権利である人権を尊重し、これを侵害することは認めません。また、強制労働や児童労働は行いません。
・各国・地域の賃金、労働時間をはじめとする労働に関する法令を遵守するとともに、全従業員に対し公正な労働条件を提供し、安全で健康的な労働環境を維持します。
・ものづくり・ことづくりの基盤となるひとづくり*3に積極的に取り組み、従業員の能力や創造性の向上を支援するとともに、従業員のキャリア形成や幸福、生活の質の向上に貢献します。

・ *1ものづくり
最新の技術を活用しつつ、これまで蓄積してきた経験や知恵を活かしながら高品質、高機能で信頼性の高い製品を提供すること

・ *2ことづくり
製品提供によって単に顧客の要求を満たすだけでなく、新たな体験、感動をも呼び起こすような発想、物語、経験などの付加価値が込められた製品・サービスを提供すること

・ *3ひとづくり
従業員が自らの役割や責任を理解し、その活動、行動、仕事に対して誇りと挑戦心を持つことができる人材を育成すること

（４）調達ガイドライン

私たちは経営基本方針（４．オープンでフェアな取引に努め、共存共栄を図る）に基づき、
取引の可能性を最大限に確保するとともに、仕入先と共同で中・長期の目標を設定し
共有しながら協調的投資を行い、新規開発やコスト低減に伴う成果の共有を行う

＜ 行動指針 ＞

１． 開かれた公正、公平な取引を行う
２． 仕入先と一体となった競争力強化を行う
３． 仕入先との「共生」「共育」を図る
４． 原価低減活動等における課題・目標の共有と成果のシェアを行う
５． 相互信頼に基づく双方向コミュニケーションを確保する
６． 仕入先の選定にあたっては、品質、コスト、納期、技術に加え、環境、リスクマネジメント、
コンプライアンス、人権・労働等の社会的責任への取り組み状況を考慮する

３．仕入先様サステナビリティガイドライン

矢崎グループは仕入先の皆様にご協力いただきながら、サプライチェーン全体でサステナブル調達*を推進します。仕入先の皆様とともに製品・サービスの提供だけでなく、サステナビリティの観点においても「共生」「共育」を図り、持続可能な社会への貢献に努めてまいります。

仕入先の皆様には本ガイドラインの趣旨をご理解いただき、自社内における社内浸透へ向けた取り組みをお願いするとともに、皆様の仕入先に対しても本ガイドラインの趣旨のご理解と実践をご要請いただきますようお願いいたします。

*サステナブル調達：自社が製品、資材および原料などを調達するにあたり、品質、性能、価格および納期といった従来からの項目に、環境、労働環境、人権等への対応状況の観点から要求項目を追加することで、サプライチェーン全体で社会的責任を果たそうとする活動。

＜品質・安全＞

製品・サービスの品質と安全の確保

製品・サービスの品質の向上と安全性の確保に努めるとともに、環境負荷の低減にも配慮します。また、それらの製品・サービスに関する適切な情報をお客様に開示し、法令や規格を満たした製品・サービスを提供します。

＜リスクマネジメント＞

リスクマネジメント

事業活動において多様化するリスクを把握し、その実行管理を徹底します。また、緊急事態が起こった際には、従業員や地域住民の人命の安全を最優先に行動するとともに、事業を継続していくための取り組みを行います。

＜コンプライアンス＞

法令等の遵守

国際条約および輸出入管理を含む関係法令等のルールを遵守すべく、適切な管理と必要な手続きを行います。また、ビジネスを展開する各国・地域の文化、慣習、歴史等を尊重します。

情報資産の管理

お客様・第三者・自社従業員の個人情報およびお客様・第三者の機密情報をはじめとする情報資産は、正当な方法で入手するとともに、適正に管理・保護し、適切な範囲で利用します。

知的財産の保護

自社が保有あるいは自社に帰属する知的財産権を保護するとともに、他者の正当な知的財産権を尊重します。

不当な利益供与および政治献金の禁止

公務員に対して、業務上の見返りを得るためのいかなる利益供与も行いません。また、各国の法律で認められている場合を除き、議員や立候補者、政党、公職員に対して献金は行いません。

一定水準を超える贈答品の授受および接待の禁止

矢崎グループ従業員を含め、ステークホルダーとの間で、各国の法律や商習慣を逸脱した、接待、贈答、金銭の授受を行いません。不当な要求があった際には、その要求に応じません。

自由で公正な競争の支持

自由で公正な競争を行い、競争に関する法令を遵守します。競争会社間での製品・サービスに関する販売価格や生産数量、販売地域、販売時期、規格等についての取り決めを行いません。また、競争会社に対する取引妨害、競争会社の新技術や新製品の情報の不正入手、お客様やお取引先の情報の不正入手等の行為は行いません。

利益相反の禁止

従業員の私的な利益のために会社の利益を損なう行為を行いません。また、従業員の親戚縁者、親しい友人が勤務または所有・経営する取引先と取引する場合にも、不正と疑われることのない適切な取引を行います。不正な取引の要求があった際には、その要求に応じません。

懸念事項を相談する手段の設置および確保

取引先を含むすべての関係者がコンプライアンス違反に関する懸念を安心して提起できるよう、相談手段を設け、適切に運用します。相談者の匿名性を確保するとともに、相談したことを理由に不利益を被ることのないよう、適切な保護措置を講じます。

＜人権・労働＞

人権の尊重

人が生まれながらにしてもつ基本的権利である人権を尊重し、これを侵害することは認めません。詳細は「矢崎グループ人権方針※」をご参照ください。

※https://www.yazaki-group.com/csr/humanrights.html

強制労働の禁止

すべての労働は労働者の自由意思に基づくものとし、いかなる形態の強制労働、債務労働、奴隷労働、人身取引を伴う労働を行いません。また、従業員が自由に離職できる権利を保証します。

児童労働の禁止

各国・地域の法令に基づき、最低就業年齢に達しない児童を雇用しません。また、児童の教育の機会を妨げる労働を行いません。

ハラスメントの禁止

従業員に対する虐待、体罰、精神的・肉体的な抑圧、脅迫、性的嫌がらせを含むいかなる形態のハラスメントや非人道的な扱いを行いません。

多様性の尊重と差別の排除

多様性を尊重し受け入れ、公平な機会を提供することで、差別のない職場環境を実現します。雇用および昇進の決定において、国籍、人種、民族、性別、性的指向、性自認、障がい、年齢、出身、学歴、縁戚関係、宗教、雇用形態の違い等を理由に差別を行いません。

適正な人事処遇の実施

各国・地域の賃金、労働時間をはじめとする労働に関する法令を遵守し、全従業員に公正な労働条件を提供します。

安全で健康的な職場環境の確保

各国・地域の労働安全衛生に関する法令を遵守し、安心・安全な労働環境を確保します。また、健康増進活動や疾病予防への取り組みを通じて、従業員の健康づくりを積極的に支援します。

従業員との対話の促進

従業員と直接あるいは従業員の代表と、誠実に対話・協議し相互に信頼関係を築きます。また、従業員が自由に結社する権利または結社しない権利を、事業活動を行う国・地域の法令に基づいて認めます。

＜環境＞

環境保全活動の実施

事業活動において環境法令を遵守するとともに、自主的な環境基準や目標を設定し、それらを達成するために、環境保全活動を積極的に推進します。また、カーボンニュートラルの実現に向けて、温室効果ガス（GHG）排出削減に努めます。さらに、サーキュラーエコノミーの推進を図り、資源の有効活用やリサイクルの促進に取り組みます。加えて、製品のライフサイクルを通じて、環境と安全に配慮したものづくりに努めます。行政や地域が取り組む地球環境保全活動や自然保護活動に対しても積極的に支援・協力するとともに、環境負荷物質の適正管理に取り組みます。

詳細は「矢崎グリーン調達ガイドライン※」をご参照ください。

※https:/www.yazaki-group.com/file/greenpurchasingguidelines_6th.pdf

＜地域・グローバル社会＞

社会貢献活動の実施

地域社会・グローバル社会の一員として豊かな社会づくりをめざし、ステークホルダーと積極的に対話するとともに社会貢献活動を推進します。

責任ある鉱物調達

強制労働や児童労働をはじめとした人権侵害・環境汚染等の深刻な社会問題を引き起こす可能性のある紛争地域およびハイリスク地域において、社会問題に由来する鉱物の使用を回避するために、お客様や仕入先と協力してそれら鉱物の使用状況を調査し、懸念がある鉱物の使用がある場合は不使用に向けた取り組みを実施します。

詳細は「責任ある鉱物調達方針※」をご参照ください。

※https://www.yazaki-group.com/csr/csr/index.html #ResponsibleMineralsSourcingPolicy

ステークホルダーへの情報の開示

経営、財務、環境、リスクマネジメント、コンプライアンス、人権・労働等に関する企業情報を適時かつ適切に開示するとともに、オープンで公正なコミュニケーションを通じてステークホルダーとの相互理解、信頼関係の維持・発展に努めます。

＊最後に＊

仕入先様サステナビリティガイドラインの遵守

本ガイドラインの遵守をお願いいたします。

本ガイドラインに反する疑いのある問題が発生した場合には、速やかにご報告のうえ、改善に努めていただくようお願いいたします。また、矢崎グループの調査・対策の実施等に積極的にご協力いただくようお願いいたします。

万が一、ご協力いただけない、あるいは改善が見られなかった場合、取引条件の変更や取引の停止をさせていただくこともございます。

<ご相談・お問い合わせ先>

〒410-1194

静岡県裾野市御宿 1500

矢崎総業(株)　サステナビリティ問い合わせ窓口

メールアドレス　：smb_yazaki-sustainability@jp.yazaki.com

改訂年月　2025 年　6 月

矢崎総業株式会社